(その1)

2224

収支報告書

平成29年分
(　　開催分)

(ふりがな)　みしまそうごうせいさくけんきゅうじょ

1 政治団体の名称　三島総合政策研究所

2 主たる事務所の所在地　大阪府高槻市紺屋町1丁目1番1-1階

3 代表者の氏名　大隈　和英

4 会計責任者の氏名　横村　一弘

事務担当者の氏名

森田　弘之

(電話)　072-681-8898

(電話)

(電話)

政治団体の区分	
☐ 政党	☐ 政治資金規正法第18条の2第1項の規定による政治団体
☐ 政党の支部	☑ その他の政治団体
☐ 政治資金団体	☐ その他の政治団体の支部

活動区域の区分	
☐ 2以上の都道府県の区域等	☑ 同一の都道府県の区域内

資金管理団体の指定の有無	
☑ 有	
☐ 無	
公職の種類(現職・候補者の別)	衆議院議員(現職)
資金管理団体の届出をした者の氏名	大隈　和英

国会議員関係政治団体の区分	
☑ 政治資金規正法第19条の7第1項第1号に係る国会議員関係政治団体	
☑ 政治資金規正法第19条の7第1項第2号に係る国会議員関係政治団体	
公職の候補者の氏名	大隈　和英
公職の種類(現職・候補者の別)	衆議院議員(現職)
公職の候補者の氏名(2人目)	
公職の種類(現職・候補者の別)	
公職の候補者の氏名(3人目)	
公職の種類(現職・候補者の別)	

資金管理団体の指定の期間
から
まで
(※複数の期間がある場合2つめ以降の期間)

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間
から
まで
(※複数の期間がある場合2つめ以降の期間)

受付
平 30.5.31
10
大阪府選挙管理委員会

CB0253 H29 H30.5.31 100910

(その2)

収　支　の　状　況

1　収支の総括表

収　入　総　額	771,775
（前年からの繰越額）	581,771
（本年の収入額）	190,004
支　出　総　額	72,456
翌年への繰越額	699,319

2　収入項目別金額の内訳

(1) 個人の負担する党費又は会費	
金　額	0
員　数（党費又は会費を納入した人の数）	0

(2) 寄　附		
ア　寄附（イを除く。）の区分	金　額	備　考
(ア) 個人からの寄附	190,000	
（うち特定寄附）	0	
(イ) 法人その他の団体からの寄附	0	
(ウ) 政治団体からの寄附	0	
小　計　(ア) ＋ (イ) ＋ (ウ)	190,000	
（寄附のうち寄附のあっせんによるもの）	0	
イ　政党匿名寄附	0	
合　計　（ア ＋ イ）	190,000	

(その6)

(6) その他の収入

行番号	摘　　要	金　　額	備　　考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	この頁の小計	0	
	1件10万円未満のもの	4	
	合　　計	4	

(その7)

行番号	(7) 寄附の内訳 寄附者の氏名 (団体にあっては、その名称)	金額	年月日	寄附者の区分 住所 (団体にあっては、主たる事務所の所在地)	1. 個人 職業 (団体にあっては、代表者の氏名)	備考
1	藤島　肇	50,000	H29/3/15	大阪府三島郡島本町広瀬4丁目5-2 ビュアカーザ302	会社役員	
2	衣川　敦子	10,000	H29/4/14	大阪府高槻市塚脇1-34-2	主婦	
3	國島　広之	30,000	H29/5/15	川崎市高津区久本3丁目6-4パークシティ溝の口D棟1408	教員	
4	森田　なぎさ	100,000	H29/11/2	兵庫県伊丹市北伊丹8-10-6	会社員	
5						
6						
7						
8						
9						
	この頁の小計	190,000				
	その他の寄附					
	合計	190,000				

(その13)

3　支出項目別金額の内訳

(1) 支出の総括表

項目	金額	備考	
		本部又は支部に対して供与した交付金に係る支出	
1 経常経費			
(1) 人件費	0	0	
(2) 光熱水費	0	0	
(3) 備品・消耗品費	0	0	
(4) 事務所費	0	0	
小計	0	0	
2 政治活動費			
(1) 組織活動費	72,456	0	
(2) 選挙関係費	0	0	
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費	0	0	
ア 機関紙誌の発行事業費	0	0	
イ 宣伝事業費	0	0	
ウ 政治資金パーティー開催事業費	0	0	
エ その他の事業費	0	0	
(4) 調査研究費	0	0	
(5) 寄附・交付金	0	0	
(6) その他の経費	0	0	
小計	72,456	0	
合計	72,456		

(その15)

	(3) 政治活動費の内訳		項目別区分		1．組織活動費	
					会費	
行番号	支出の目的	金額	年月日	支出を受けた者の氏名 (団体にあっては、その名称)	支出を受けた者の住所(団体にあっては、主たる事務所の所在地)	備考
1	会費	18,000	H29/5/29	高槻商工会議所	高槻市大手町3番46号	
2	会費	36,000	H29/6/6	高槻クラブ	高槻市大手町3番46号高槻商工会議所内	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
	この頁の小計	54,000				
	その他の支出	18,456				
	合計	72,456				

(その17)

資産等の状況

1　資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有	無	備考
ア　土地	□	☑	
イ　建物	□	☑	
ウ　建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権	□	☑	
エ　取得の価額が100万円を超える動産	□	☑	
オ　預金（普通預金及び当座預金を除く。）又は貯金（普通貯金を除く。）	□	☑	
カ　金銭信託	□	☑	
キ　有価証券	□	☑	
ク　出資による権利	□	☑	
ケ　貸付先ごとの残高が100万円を超える貸付金	□	☑	
コ　支払われた金額が100万円を超える敷金	□	☑	
サ　取得の価額が100万円を超える施設の利用に関する権利	□	☑	
シ　借入先ごとの残高が100万円を超える借入金	□	☑	

(その20)

宣　　誓　　書

添付書類（別添のとおり）

☑　1　領収書等の写し

☐　2　監査意見書（政党及び政治資金団体に限る。）

☑　3　政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

平成30年　5月　29日

政治団体の名称　三島総合政策研究所

会計責任者の氏名　横村　一弘

代表者の氏名　（代表者については解散時のみ記入すること）

(印)

政治資金監査報告書

平成30年5月29日

三島総合政策研究所
代表　大　隈　和　英　殿

登録政治資金監査人　高橋満穂　㊞
登　録　番　号　第4399号
研修終了年月日　平成29年7月28日

1. 監査の概要

（1） 私は、政治資金規正法（以下「法」という。）第１９条の１３第１項の規定に基づき、三島総合政策研究所の平成２９年に係る法第１２条第１項に規定する収支報告書（※１）のすべての期間を対象として、当該収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書等及び振込明細書について、支出に関する政治資金監査を行った。

（2） この政治資金監査は、法第１９条の１３第２項に定めるところにより政治資金適正化委員会が定める「政治資金監査に関する具体的な指針」（以下「政治資金監査マニュアル」という。）に基づき行った。

（3） 私の責任は、外部性を有する第三者として、国会議員関係政治団体の会計責任者の作成又は徴取した収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書及び振込明細書について、政治資金監査マニュアルに基づき政治資金監査を行った結果を報告することにある。

（4） 政治資金監査は、三島総合政策研究所の主たる事務所（※２）において行った。

2. 監査の結果

私が実施した政治資金監査の結果は、以下のとおりである。

（1） 法第１９条の１３第２項第１号に規定する事項について、会計帳簿、明細書、領収書等が保存されていた。

（2） 法第１９条の１３第２項第２号に規定する事項について、会計帳簿には、当該国会議員関係政治団体に係るその年における支出の状況が記載され、かつ、当該国会議員関係政治団体の会計責任者が当該会計帳簿を備えていた。

（3） 法第１９条の１３第２項第３号に規定する事項について、法第１２条第１項に規定する収支報告書（※１）は、会計帳簿、明細書、領収書等に基づいて支出の状況が表示されていた。

（4） 法第１９条の１３第２項第４号に規定する事項については、特に無かった。

3. 業務制限

三島総合政策研究所と私との間には、法第１９条の１３第５項の規定に違反する事実はない。

また、三島総合政策研究所と政治資金監査の業務を補助した使用人その他の従業者との間においても、同様である。

以　上

（※１）政治団体が解散等したときに提出する収支報告書の場合は、「法第１７条第１項に規定する収支報告書」とすること。

（※２）国会議員関係政治団体の主たる事務所と異なる場合は、その理由を明らかにした上で政治資金監
査の実施場所を特定すること。

（注）政治資金監査を主たる事務所で行わないことができる例外としては、会計帳簿や領収書等の紛失等の事故を防止するための十分な措置が講じられ、かつ、会計責任者等に対するヒアリング等を通じて、経常経費を含む事務所の運営実態について確認することができることを条件として以下の場合が考えられる。

① 作業スペースの不足等やむを得ない事情により、円滑な政治資金監査の実施が困難であると登録政治資金監査人が判断した場合
② 同一の国会議員に係る複数の国会議員関係政治団体の政治資金監査を実施する場合において、政治資金監査の効率的な実施のため、特定の事務所等に収支報告書及び会計帳簿等の関係書類を集めた上で、政治資金監査を行うことが適当であると登録政治資金監査人が判断した場合